

科目名	社会福祉演習Ⅲ L					単位	2.0
担当教員	牧村 順一						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	4	授業番号	3248

●授業のテーマ

コミュニティワーク・コミュニティソーシャルワーク推進の課題と方法

●到達目標

CSWなど地域福祉活動推進についての的確な問題発見・分析能力を高め、地域特性の把握、地市分析の手法等を理解する。

●学習内容(授業概要)

CSWなど地域福祉活動は、住民による日常的な交流・連携を基礎としながら、地域にある生活問題を緩和・解消する、住民が主体となって担われる活動をいう。演習参加者各自が自分の関心・テーマを持ち、実際に展開されている地域福祉活動に学びながら、その内容を理解し互いに論じ合うことで、これからの地域福祉及び社会福祉の展望と方法を見出していく。

3年次からの継続的なゼミの運営に心がける。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. オリエンテーション
2. 各自の問題意識・興味・関心の明確化(1) 問題意識
3. 各自の問題意識・興味・関心の明確化(2) 興味ある分野
4. 各自の問題意識・興味・関心の明確化(3) 関心ある分野
5. 文献にもとづく発表・議論(1) 所属する地域社会の特性発表(大都市部)
6. 文献にもとづく発表・議論(2) 所属する地域社会の特性発表(大都市部周辺地域・地方都市)
7. 文献にもとづく発表・議論(3) 所属する地域社会の特性発表(中山間地)
8. 資料・素材を用いた発表・議論(1) 大都市部
9. 資料・素材を用いた発表・議論(2) 大都市周辺部・地方都市
10. 資料・素材を用いた発表・議論(3) 中山間地
11. 所属する地域社会の福祉課題についての発表・議論(1) 大都市部
12. 所属する地域社会の福祉課題についての発表・議論(2) 大都市部周辺都市・地方都市
13. 所属する地域社会の福祉課題についての発表・議論(3) 中山間地
14. 地域社会の福祉課題の構造と解決の方途
15. 前期まとめ

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業のテーマごとに、自分の意見をまとめておく。授業後は、授業内容を確認するとともにテーマに沿って関連する領域についてもさらに調べておく。

●成績評価方法・基準

議論への参加状況(25%)

テーマ別小レポート (25%)  
発表及び内容 (50%)

●テキスト (必携)  
授業時に指示する

●参考文献／その他  
授業時に指示する

●履修上の注意  
自分なりのテーマ (問題意識) をもって参加すること